

(別紙1)

## 総括研究報告書

課題番号	2023E-1				
研究開発課題名	成育医療分野における研究教育・人材育成のための基盤の構築				
分類※	<input checked="" type="checkbox"/> ①	<input checked="" type="checkbox"/> ②	<input type="checkbox"/> ③	<input type="checkbox"/> ④	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ <input type="checkbox"/> ⑦
区分	<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input checked="" type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> S
主任研究者	所属	教育研修センター			
	役職	センター長			
	氏名	石黒 精			
実施期間	2023年 4月 1日 ～ 2024年 3月 31日				

### 成果の概要

2023年度研究事業計画にもとづき、研究事業全体として順調に進捗した。

#### ●人材育成推進基盤

##### 1) 研究トレーニング、研究協力・支援

昨年度研究所の各研究部に協力依頼して作成した医療従事者のためのオンザジョブ研究トレーニングに関するシラバスを更新し、病院職員に対する周知・広報を実施した。当センター職員の研究に関する相談窓口として、研究所リサーチコンシェルジュの体制を維持し、医療従事者からの相談に対応した。このような取り組みを通して、今年度は新たに6名の医療従事者が研究活動に参加し、論文出版につながるなどした。その他若手医療従事者や研究者への指導・支援を行い、計26件の英文学術論文等の出版に貢献した。また、日本小児科学会専門医試験を受験するために論文出版が必須化されたことの効果を検証し、小児科専攻医の学術活動が必須化前後で増大したこと、および学術活動と専門医試験合格との関連を見出し、アジア小児科学会で発表して国際誌に報告した。

##### 2) 人材交流

病院・研究所間の人材交流として、病院の医療従事者が研究に触れる機会および研究所の研究者が病院での診療に触れる機会を提供し、定期的なカンファランスへのリモート参加やセミナーのオンデマンド配信が実施された。また、国立成育医療研究センター病院診療科と研究所の研究部との共同研究を推進した。

##### 3) 人材育成費用補助・論文出版費用補助の実施

英語論文校正費等の補助を行い、当センターより出版される学術論文の質の担保に貢献した。

#### ●研究教育推進基盤

##### 1) 研究コンプライアンス等の研究教育の実施

研究に関連する法令や指針についてなど、各種研修会を企画・開催した。当センターで行われた臨床研究教育セミナーで試行されたピアラーニングの効果を質的に解析し、直接的・間接的な二重の効果があることを見出し、日本小児科学会で発表して国際誌に報告した。

2) セミナー等の調整および開催支援

当センター内外の若手医療従事者向けに「成育こどもセミナー」を昨年度に引き続いて企画してwebにて8回実施し、のべ9,989人が聴取した。その他、成育サマーセミナー、臨床研究必須セミナー、成育臨床・研究倫理研修会、「Non-MDのキャリアパスを考える」セミナーを実施した。

●臨床研究医教育

当センター小児科レジデントの臨床研究医1名および慶應大学の臨床研究医1名が、研修プログラムに従って分子内分泌研究部において基礎研究を開始した。いずれも社会人大学院に入学した。